

初期ピアノ学習の学習項目の整理

小松美緒^{†1} 國宗永佳^{†2} 新村正明^{†2}

本研究は、最終的にピアノ初学者への補助楽曲の生成と提供を目的としている。補助楽曲とは、学習者が現在練習している楽曲と同様の練習を行うための楽曲であり、学習者が既に習得している項目と、新規に習得したい項目で構成されていることが適切である。しかし従来、初期のピアノ教育において学習される項目は明確化されてこなかった。そのため本稿ではまず、初期のピアノ教本で扱われる項目について「学習項目」として整理する。

Clarifying Study Items in Novice Piano Learning

MIO KOMATSU^{†1} HISAYOSHI KUNIMUNE^{†2}
MASAAKI NIIMURA^{†2}

The goal of this study is to automatically compose complementary pieces for supporting novices in piano playing. A complementary piece is a musical piece composed to practice the same items in a practical piece in a textbook. It is prefer that a complementary piece includes only knowledge and skills, which a learner have acquired and is learning with the practical piece. However, the study items in novice piano playing have not been clarified; thus this paper clarifies them.

1. はじめに

本研究は、幼児・児童といったピアノ初学者を対象としており、最終的にこれらのピアノ初学者が円滑に学習を進められるよう「補助となる楽曲」を自動で生成し、生成した楽曲を提供することによる学習支援を目的としている。

ピアノ学習はほとんどの場合、指導者が選択した初級ピアノ教本に添って行われる。多くの初級ピアノ教本は、順次新しく学習する項目を追加しながら学習を進めるよう編纂されているが、教本に添った学習をしているだけでは、新しく追加された項目を習得できない場合がある。

そのような場合さまざまな解決方法があるが、本研究では、学習の「補助となる楽曲」を学習者に提供することによる解決方法を選択することとした。「補助となる楽曲」は、新しく追加された項目と、学習者がすでに習得している項目で作成されていることを想定している(図1)。

しかしながら、従来、初級ピアノ教本で扱われている項目は、小学校学習指導要領の「音符、休符、記号や音楽にかかわる用語」([1]p.71)のように、明示されてこなかったため、「補助となる楽曲」を提供しようとする、学習者がどのような項目を習得しているか客観的に表すことができず、正確な楽曲を用意することができない。そのためまず、初期のピアノ学習において学習されている項目を整理する必要がある。

そこで本稿では、初期のピアノ学習において習得する項目を「知識」と「技術」に分け、さまざまなピアノ教本か

ら「学習項目」として整理することを目的とすることとした。

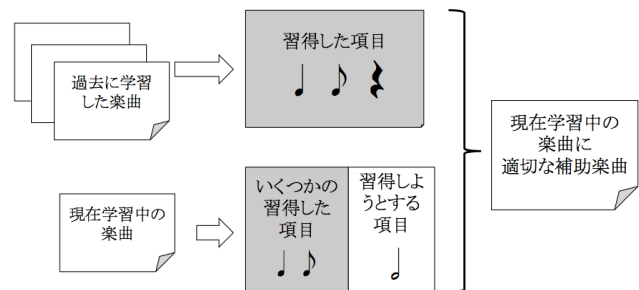


図1 学習中の楽曲と「補助となる楽曲」の関係

Figure 1 Relationship between a practical piece and its complementary piece.

2. 先行研究と教本の範囲

2.1 代表的な先行研究

ピアノ初学者への補助教材の自動生成、ピアノ教育の学習内容についてはさまざまな研究が行われているが、特に関連の深いものを以下に挙げた。

まず、ピアノ初学者への補助教材の自動生成については、特定のピアノ教本学習者を対象とし、右手の練習のために短い課題を提示する研究が挙げられる[2]。この研究は教本の内容を補足するため、課題を提示するという観点が共通しているが、課題が短い点、特定の教本にのみ対応している点で本研究と異なっている。次に、ピアノ学習の内容についての研究としては、5種類のピアノ教本を対象に、ど

^{†1} 信州大学大学院総合工学系研究科
Interdisciplinary Graduate School of Science and Technology,
Shinshu University

^{†2} 信州大学学術研究院工学系
Institute of Engineering, Shinshu University

のような音楽記号が扱われているか比較した研究が挙げられる[3]. 音楽記号を初級ピアノ教本中から抜き出す点は本研究と重なる部分が多いが, ピアノ学習導入期における音楽記号と楽曲への音楽的効果の関連を論じており, 目的が本研究と異なる.

2.2 教本の範囲

初級ピアノ教本はさまざまな出版社から数多くの教本が出版されている. そこで本研究ではさまざまな出版社の代表的なピアノ教本をまんべんなく取り上げた2冊のカタログ[4,5]に収録され, 入手可能であった初級ピアノ教本 25種類[6-30]を対象とし, 初期のピアノ学習の「学習項目」を検討することとする.

3. 学習項目

「学習項目」については, ピアノ演奏に必要な項目である, 記譜に関わる記号についての「知識」と, 演奏方法についての「技術」の, 大きく2つに分けることとする. この他, 小学校学習指導要領にある「音楽を愛好する心情と音楽に対する感性」([1]p.64)といった項目もピアノ演奏には必要な項目であるが, この項目については, 「知識」や「技術」のように言葉で定義することが困難であることや, 学習者の主観的な部分であることから, 本研究における「学習項目」としては整理しないこととする.

3.1 「知識」の学習項目

「知識」の学習項目は, 記譜に関わる記号のことをいい, おもに次のような項目となる.

- 音部記号
- 拍子記号
- 音符・休符
- 変化記号
- 演奏記号

3.2 「技術」の学習項目

初級ピアノ教本では, 片手が「同時に鳴らす鍵の数」は, 単音, 重音, 和音と順次数が増やされる. また, 「手と指の動き」については, はじめは片手の5本の指を5度以内の5個の鍵に対応させる演奏から, 次第に両手を同時に用い, 5個以上の鍵を扱う演奏の学習が行われるといった特徴がある. 「技術」の学習項目では, これらの特徴に従い, 上記の2つに分けて検討する.

4. 「学習項目」の比較

以上のように整理した「学習項目」を, 2種類の初級ピアノ教本[25], [28]のそれぞれ1曲目から, 両教本において共通して扱われている, ストリーボック作曲《たのしい朝》までを例に比較した. 《たのしい朝》は, 教本[25]では126曲目, 教本[28]では71曲目に扱われる. 表1に, 両教本の《たのしい朝》までにおいて修得される項目を示した. 25種類の初級ピアノ教本からは, さらに多くの「学習項目」

が確認されたが, ここでは上記2種類の教本で扱われていた「学習項目」のみを示す.

表1から, 教本[25]では, 「技術」の学習項目の「左手の指かえ」の項目を, 教本[28]では「知識」の学習項目の「6/8拍子」および「付点八分音符」や, 「技術」の学習項目の「右手片手」, 「左手片手」, 「交差」を習得していないことが読み取れる. また, 教本[28]では「技術」の学習項目の「右手和音」の項目が, この楽曲で初めて学習される項目であることがわかる.

そのため, 同一の楽曲に対する「補助となる楽曲」であっても, 異なる項目を含む楽曲にする必要がある.

表1 ピアノ教本による同一楽曲の学習項目の違い
 Table 1 Differences between study items of the same piece in different textbooks.

学習項目		教本 [25]	教本 [28]	
知識	音部記号	ト音記号	○	
		ヘ音記号	○	
	拍子記号	2/4	○	
		3/4	○	
		4/4	○	
		3/8	○	
		6/8	○	
	音符 (左/右)	全音符	○/○	
		付点二分音符	○/○	
		二分音符	○/○	
付点四分音符		○/○		
四分音符		○/○		
付点八分音符		○/○		
八分音符		○/○		
十六分音符		○/○		
三連符		○/○		
技術	同時に鳴らす鍵の数(左/右)	単音	○/○	
		重音	○/○	
		和音	○/◎	
	手と指の動き	手の動き	右手片手	○
			左手片手	○
			交互	○
			同時	○
			交差	○
		指の動き (左/右)	5指5鍵	○/○
			指くぐり	○/○
指かえ			—/○	
指ちぢめ			○/○	
指こえ			○/○	
指ひろげ	○/○			

(○…すでに習得している項目, —…扱われていない項目,
 ◎…《たのしい朝》で初めて扱われる項目)

5. まとめ

本稿では、従来論じられてこなかった初期のピアノ学習において習得する項目を、さまざまな初級ピアノ教本の中から、「知識」と「技術」に分け、「学習項目」として整理することを目的とし、研究を行った。これにより、学習者が何を習得しているのか明示的に表すことができるようになった。

今後はこの整理した「学習項目」を、「補助となる楽曲」を生成する際の要素とすることが可能か検証を行っていく。

参考文献

- 1) 文部科学省: 小学校学習指導要領(2015).
- 2) 北村環,三浦雅展: ピアノ導入教育のための学習支援システムの実現を目指して, 日本音楽知覚認知学会平成18年度秋季研究発表会資料, pp.115-120, Nov. (2006).
- 3) 山野誠之: 音楽基礎理論の導入に関する比較研究-ピアノのための初級教本を主たる対象として-1-, 長崎大学教育学部人文科学研究報告, vol.40, pp.41-54(1990).
- 4) 音楽之友社(編): もっと知りたいピアノ教本, 音楽之友社(2000).
- 5) 中村菊子: 夢がふくらむレッスンのハンドブックピアノのメソッドと副教材(改訂版), ヤマハミュージックメディア(2009).
- 6) 新井千音美: みんなのおけいこ, 1(導入編), 2(基礎編), 3(発展編), 音楽之友社(1975-1976).
- 7) J.S.バステイン, L.バステイン, R.バステイン著, 溝部洋子訳: バステイン・ピアノパーシックスピアノ(ピアノのおけいこ), プリマーレベル, レベル1-レベル4, 東音企画(1989).
- 8) J.S.バステイン, L.バステイン, R.バステイン著, 溝部洋子訳: バステイン・ピアノパーティ, A-D, 東音企画(1993-1994).
- 9) エドナ・メイ・バーナム著, 中村菊子訳: バーナムピアノ教本, ブック1-ブック5, 全音楽譜出版社(1993).
- 10) リラ・フレッチャー著, 中村菊子, 渡辺寿恵子訳: リラ・フレッチャーピアノコース, ブック1-ブック6, 全音楽譜出版社(1985-1990).
- 11) 呉暁: うたとピアノの絵本, ①-③, 音楽之友社(1989).
- 12) D.グローバー, ルイス・ギャロウ: グローバー・ピアノ教育ライブラリー, 導入編, vol.1-vol.6, ヤマハミュージックメディア(2000).
- 13) D.グローバー, ジェイ・スチュアート共著: みんなのグローバー・ピアノ, レッスン[導入編], レッスン[vol.1-vol.4], ヤマハミュージックメディア(2000).
- 14) 橋本晃一: ピアノひけるよ!ジュニア, 1-3, ドレミ楽譜出版社(1998).
- 15) 橋本晃一: ピアノひけるよ!シニア, 1-3, ドレミ楽譜出版社(1999).
- 16) 井口基成監修: 子供のための音楽教室編: あたらしいピアノのおけいこ, 音楽之友社(1958).
- 17) 樹原涼子: ピアノランド, ①-⑤, 音楽之友社(1991-1992).
- 18) 成田稔子: ピアノ・コスモス・シューレ, 1-3, 全音楽譜出版社(1990-1991).
- 19) W.A.パーマー, M.マニユス, A.V.レスコ著, 田村智子訳: アルフレッド・ピアノライブラリー基礎コース, 1A, 1B, レベル2-6, 全音楽譜出版社(2007-2008).
- 20) W.A.パーマー, M.マニユス, A.V.レスコ著, 田村智子訳: アルフレッド・ピアノライブラリー導入コース, レベルA-F, 全音楽譜出版社(1974-1993).
- 21) M.ステッカー, N.ホロヴィッツ, C・ゴードン, 中村菊子訳: ラーニング・トゥ・プレイ, ブック1-ブック4, 全音楽譜出版社(1980).
- 22) ジョン・トンプソン: 小さな手のためのピアノ教本, 全音楽

譜出版社(不明).

- 23) ジョン・トンプソン, 大島正泰: 現代ピアノ教本, 1-2, 全音楽譜出版社(不明).
- 24) ジョン・トンプソン, 大島妙子: トンプソンはじめてのピアノ教本, 第1巻-第3巻, ヤマハミュージックメディア(1990).
- 25) 田丸信明: ぴあのどりーむ, 第1巻-第6巻, 学習研究社(1993).
- 26) エルネスト・ヴァン・ド・ヴェルド著, 安川加寿子訳: メトードローズ・ピアノ教則本ピアノの1年生, 音楽之友社(1951).
- 27) ヤマハ音楽振興会編著: みんなのオルガン・ピアノの本, 1-4, ヤマハミュージックメディア(不明).
- 28) ヤマハミュージックメディア編著: エボニーとアイボリーのピアノのくに, 1-4, ヤマハミュージックメディア(2008).
- 29) ヤマハ音楽振興会編著: こどものバイエルミッキーといっしょ, 1-4, ヤマハミュージックメディア(2012).
- 30) 湯山昭: こどもの宇宙, ステップ1-ステップ3, 全音楽譜出版社(1997-2008).